

# 第 33 回軽金属セミナー 「アルミニウム合金の組織

## —中級編（時効析出）」（第 3 回）

軽金属材料で重要となる「時効析出の基礎と応用」を学んで頂くためのセミナーです。

初学者向けに、テキストおよびPPTを用いてわかりやすく講義します。

好評につき3回目を東海地区で開催します。

工業材料としてのアルミニウム合金の重要な特徴として、軽量かつ高強度であることが挙げられます。いわゆる熱処理型（時効硬化型）アルミニウム合金は、時効析出現象を利用して材料を強化することができ、高い比強度が求められる輸送機器や建築部材などに広く使用されています。そのため、アルミニウム合金の製造や研究開発に携わる技術者・研究者にとって、材料のさらなる特性改善を図るためにも、時効析出現象の基礎と応用の理解は、必要不可欠であると言えます。

本セミナーでは、この分野に経験のある講師が、過飽和固溶体からの相分解過程としての時効析出現象の概要を説明した後、熱処理型アルミニウム合金における時効析出過程の詳細や実用アルミニウム合金に対する時効析出現象の工業的応用例についてわかりやすく講義します。時効析出について学習する機会のなかった若手から、基礎知識の必要性を感じている中堅の技術者・研究者、アルミニウム材料を扱うユーザーの方々のご参加をお待ちしています。

なお、中級編は軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織—入門編（状態図と組織）」を受けて開催する形となっており、平成28年9月に開催予定の「アルミニウム合金の組織—応用編（実用アルミニウム合金の組織と特性）」にもつながるものとなっています。事前に入門編を受講されることをお勧めしますが（次回の入門編セミナーは、別途会告のとおり平成28年6月10日に北陸地区で開催します）、本セミナーからの受講でも歓迎致します。また、非会員の方は、これを機会に一般社団法人軽金属学会（正会員年会費8000円、入会金なし）への入会をお勧めします。

主催：一般社団法人軽金属学会

後援：公益財団法人軽金属奨学会

協賛：日本アルミニウム協会、日本マグネシウム協会、日本チタン協会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本材料学会、日本機械学会、日本塑性加工学会、日本鋳造工学会、日本自動車工業会、軽金属製品協会、軽金属溶接協会、自動車技術会、日本ダイカスト協会

日時：平成28年7月8日（金）10：00～17：10

会場：名古屋大学環境総合館レクチャーホール（名古屋市千種区不老町）

参加費：正・維持・協賛学協会員 8,500円 学生会員 1,000円 非会員 25,000円 学生非会員 6,000円（協賛学協会員は会員扱い）

定員：40名

申込先：軽金属学会ホームページ（<http://www.jilm.or.jp/>） 左部コンテンツ「シンポジウム・セミナー参加申込」よりお申込みください。

問合先：一般社団法人軽金属学会（〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-15 TEL (03)3538-0232 FAX (03)3538-0226）

郵便振替口座番号：一般社団法人軽金属学会 00100-3-66805

プログラム：

1. 「時効・析出の基礎」（10：00～12：00）  
過飽和固溶体からの相分解過程としての時効析出現象を概説し、挙動を理解するうえで重要となる焼入れ過剰空孔や溶質原子の拡散、溶解度線と熱処理条件（温度・時間）の関係、析出物による強化法などについてわかりやすく講義する。  
横浜国立大学 廣澤 渉一
2. 「熱処理型アルミニウム合金の時効析出」（13：00～15：00）  
2000 (Al-Cu-Mg) 系、6000 (Al-Mg-Si) 系および7000 (Al-Mg-Zn) 系合金の状態図や析出過程、GPゾーンを含む各相の特徴、析出組織と強度の関係、析出サイトや整合性、焼入感受性などについてわかりやすく講義する。  
東京工業大学 名誉教授 里 達雄
3. 「時効析出の工業的応用」（15：10～17：10）  
実用アルミニウム合金に対する時効析出現象の工業的応用例を紹介し、溶体化処理や焼入れ処理、時効処理の実際を概説する。さらに、組織制御による材料特性の改善法についても、最近の例を交えながらわかりやすく講義する。  
株式会社UACJ 技術開発研究所 顧問 吉田 英雄

（世話人：(株)UACJ 水越秀雄、大瀧光弘、(株)TYK 大島智子、三協立山(株) 山田公一、横浜国立大学 廣澤渉一）